

食彩王国&温泉王国山形の魅力 ～ホ・ヨンマン画伯による山形県取材～

ソウル事務所

ソウル事務所では、韓国の漫画家ホ・ヨンマン画伯を日本の各地に招き、取材していただいたうえで、韓国でそれを広く紹介する事業を行っています。

今回は、2013年1月31日(木)～2月4日(月)の日程で実施した山形県取材の様子を報告します。

1. 食彩王国を味わう

皆さんはご存じでしょうか。総務省がまとめた「家計調査 都道府県庁所在地および政令指定都市部ランキング」(二人以上の世帯。平成 21～23 年分を平均で算出)によると、山形市がラーメン消費量第一位となっております。またそのほかにも山形県は、サクランボやラ・フランスの生産量が、日本一となっているのみならず、そばの生産量も多く、そば処としても有名であり、正に食彩王国と呼ぶにふさわしい地域となっております。

画伯も、食彩王国山形の魅力を確かめるためご当地ならではの、さくらんぼビールや、そばビール、ワイン、そして山形県内の 3 大そば街道の一つである最上川三難所そば街道においては、そばがきとそばの味を取材し、その味を存分に堪能しておられました。またその他にも、蔵王温泉がそのルーツであると言われている料理の「ジンギスカン」を取材し、おいしい羊肉に画伯も舌鼓を打っておられました。



のどか村にて



くれない苑にて

2. 温泉王国を楽しむ

山形県は、県内35市町村すべてに温泉が湧き出す「温泉王国」です。その中でも、特に有名な温泉地が、16カ所もあるそうですが、我々は、それらのうち、湯田川温泉、銀山温泉、天童温泉、蔵王温泉、かみのやま温泉、小野川温泉の合計6つの箇所取材しました。それぞれの温泉ごとの特色や歴史は、画伯をはじめとした取材陣にとって興味深いものになったことと思います。

また、小野川温泉においては、温泉街の方々が皆さんで協力していただき、画伯への歓迎の意を込めて、温泉街の各店舗や各旅館の入り口に韓国語で「ようこそ ホヨンマン画伯様」と記載された手作りのラミネートポスターを掲示していただくなど、心のこもった手厚い歓迎を行って頂き、画伯も大変喜んでおられました。



銀山温泉街にて

3. 歴史や文化に触れる

酒田市では、百年以上前に建てられた米穀倉庫であり、ドラマ「おしん」のロケ地にもなった山居倉庫（さんきょそうこ）取材しました。倉の内部は湿気防止構造で、背後のケヤキ並木が、日よけ、風よけの役割を果たすなど自然を利用した低温管理が行われ、今も現役の農業倉庫として利用されています。画伯を始め取材陣は、未だに色褪せない倉庫の機能の秘密を探るべく、熱心に説明に聞き入っていました。

そのほか、羽黒山では、山伏姿のガイドさんに案内していただき、樹齢千年と言われている羽黒山爺杉や、東北で最古と言われる国宝の五重塔などを取材しました。取材当時は大変雪が深く、少し歩きづらかったものの、とても好天に恵まれたため、さわやかな山の空気に触れることができ、画伯も大いに英気を養うことができた様子で、満面の笑みを浮かべておられました。

その他、そば打ち体験、紅花染め体験、こけしの絵付け体験の取材では、見事にすべての体験をこなした画伯でしたが、その中でもやはり絵を描くことが本業である画伯は、こけしの絵付けに夢中になり、画伯オリジナルのデザインで、一気に3本のこけしの絵付けを完成させました。



のどか村にて

羽黒山にて

4. 山形県取材を通して

食彩王国・温泉王国として自他ともに認める山形県ですが、今回の取材は、正にその事実を確認する旅になったと思います。しかしながら、山形の魅力はこれだけに留まりません。今回の取材先だけでもご紹介しきれない所もありますし、山形には魅力あふれる箇所が、まだまだたくさんあります。また、今回我々が山形を訪れたのは、冬でしたが、すべての四季を通して再度訪れたいと思う魅力があふれる地でもあります。

旅行に出かける目的は、「楽しみたい」、「疲れた心と体を癒したい」など、人それぞれ様々かと思いますが、そのようなすべての方々の希望に応え、優しく受け入れてくれる地として、正に山形は、お勧めの地であります。

是非この魅力が広く韓国の皆さんに伝わり、もっともっとたくさんの韓国の方が山形を知り、山形に来ていただくことを願っております。

そして、今回の我々の取材でご紹介できる山形の魅力はほんのわずかかもしれませんが、今回の取材が、もっともっとたくさんの韓国の方が山形を知り、山形に来るきっかけとなることを期待します。

最後に、今回の取材にあたり大変ご尽力いただきました、山形県 商工観光部 観光経済交流局 観光交流課の皆様、また、温かいおもてなしの心でご対応いただいた取材先の皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。



取材先の皆様

ソウル事務所としては、今後とも日本の魅了発信に積極的に努めていく所存でありますので、どうぞよろしく願いいたします。

(石塚所長補佐 鹿児島県派遣)